

ユニセフ兵庫ニュース
Wish

vol. **43**
2014年5月号



CONTENTS

2-5 特集 ユニセフのつどい
イベントレポート

6-7 活動ファイル
2013年12月～2014年4月

8 お知らせ



上映会 & 高校生ガチントーク

福島県立相馬高等学校放送局制作「今、伝えたいこと(仮)」と「相馬高校から未来へ」(NHK杯全国高校放送コンテスト優勝作品)を上映しました。トークセッション「いま、私たちにできること」には、放送局員の但野仁美さんと古山菜美さん、兵庫県立西脇工業高等学校の辻昂輔さんが参加。進行役は森田明彦さん。震災から3年経った今だから言葉にできる思いを語る姿が心に残りました。

「ユニセフのつどい」終了後、森田明彦さんからメッセージが届きました。

私が今回のトークを通じて最も強く感じたことは、原発とは人間が担える限度を超えたりリスクを、子どもを含むすべての関係者に強いるものなのだと感じています。2002年5月にニューヨークの国連本部で開催された「国連子ども総会」で発表された子どもたちのメッセージは「みなさんは私たちを未来と呼びます。けれども私たちは現在でもあるのです」という一文で終わっています。しかし、原発事故によって「未来」を奪われた子どもたちは、誰よりも長い絶望の「現在」を生きている世代となりました。

私は昨年5月、ジュネーブで開催された「第4回グローバルプラットフォーム」という防災に関する国際会議に参加しました。日本の政府代表である亀岡偉民内閣府政務官は閉会式の挨拶の最後に、自分が福島選出の国会議員であること、福島に住み毎日福島産の食材を食べて元気でいること、福島を含む東日本大震災の被災地は着実に復興していることを訴えました。故郷である福島の風評被害を払拭したいという熱い思いが伝わる感動的な演説でした。しかし、福島を一日でも早く復興させたいという大人たちの熱い思いが一方で、将来に不安を感じている子どもたちに対する精神的圧力を学校や家庭で話し合うことを困難にしています。

私は、このティレンマからの出口を見出すことができません。おそらく、永久に見出すことはできないのだらうと思います。日本の人々の関心は、今や東京オリンピックやアベノミクスに移っています。今から90年前にも同じようなことがありました。第1次世界大戦で被災した子どもたちへの支援活動を開始した英国人女性エリザベス・ジェブは1922年には国際的な関心が低下し大規模な支援活動を継続するための資金を集めることが困難となったことを覚り、「それにもかかわらず、子どもたちへの支援を続けたいと望むなら、子どもたちに(支援を受ける)権利があることを訴え、世界にそのことを認めさせなければならぬ」と決断し、世界初の子どもの権利に関する公式文書である「ジュネーブ子どもの権利宣言」(1924年9月26日に国際連盟総会で採択)の草案を書き上げたのでした。今年と同宣言採択90年に当たります。同じ年の6月9日には賀川豊彦が6つの子どもの権利論を公表しています。この記念すべき年に賀川が創設したコープこうべを母体とする兵庫県ユニセフ協会が主催した「ユニセフのつどい」において、福島の子どものためには「原発周辺の地域は原発のおかげで潤ってきたと思うのね。リスクと引き換えに、でも考えてみればそれって、私たちの世代が決めたことじゃないよね」と語りました。原発事故国である日本には、この底知れないほど重い子どもたちの「絶望」の声を受け止める責任があることは間違いありません。

森田 明彦さん

外務省、国連開発計画、日本ユニセフ協会広報室長、東京工業大学特任教授等を経て2010年より宮城県の上野原学院大学教授。

原発事故によって「未来」を奪われた子どもたちは誰よりも長い絶望の「現在」を生きている世代となりました



国際協力に力を注ぐ若者を応援したい
東日本大震災の復興支援を応援したい
福島県立相馬高等学校放送局の皆さんの声を今年も届けたい
そんな12回目の「ユニセフのつどい」
語らいて交流の輪が広がり、歌や太鼓やダンスで心を熱くし
会場はひとつの思いで包まれる
心をつなぎ いっしょに 歩こう!! 未来へ



神戸大学附属中等教育学校住吉校舎コーラス部
澄みきった歌声から「つどい」は始まりました。さわやかなコーラス、はじける笑顔が会場を魅了しました。



大西匡哉(まさや)さん
響き渡る太鼓の音。心にしみる歌声。リズムカルなアフリカ音楽が会場いっぱい広がりました。

第12回 世界のともだちと心をつなごう
ユニセフのつどい
Unicef Festival

未来へ For Our Future

2014年3月9日(日)

場所 コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)
参加者 200人

募金贈呈式



参加団体 (順不同)

- ・伊藤ハム株式会社
- ・コープこうべ
- ・コープこうべ労働組合
- ・コープこうべ定時職員協議会
- ・神戸市立鷹取中学校



モビーディック

宮城県石巻市に本社があるマリンスーツグッズ専門店。ウェットスーツの切れ端を利用し、地元の仮設住宅の人たちと共同製作した小物を販売。



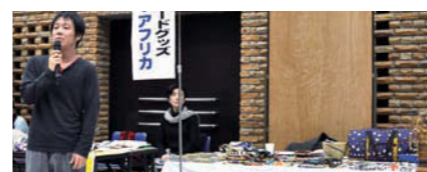
賀川記念館

賀川豊彦の働きと志を引き継ぐ地域コミュニティセンター。岩手県宮古市の支援グッズを販売。

<http://core100.net>

東日本 支援・交流

活動紹介・東北各地の物品販売



アマニ・ヤ・アフリカ

ケニアの子どもたちに笑顔を。アフリカの人々の自立や子どもたちの教育を支援するNPO。

<http://amani-ya.com/>



アクセス

フィリピンと日本で貧困問題の解決に取り組む国際協力NGO/NPO。

<http://www.page.sannet.ne.jp/acce/>

国際 支援・交流

活動紹介・フェアトレード製品、
現地の物品販売



神戸市立本山中学校

神戸市東灘区岡本商店街復興支援ショップ「気仙沼まただいん」と本山中学校がコラボし、岩手県気仙沼市の特産品にパッケージデザインを施し販売。



ワタママプロジェクト

宮城県石巻市渡波(わたのは)地区のお母さんたちを応援するプロジェクト。オリジナル商品を販売。

<http://watamamasmile.com/>



兵庫県立西脇工業高等学校

宮城県東松島市、南三陸町でのボランティア活動の様子をパネルやパソコンを使って紹介。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~nishiwaki-ths/>



WEAVE

タイ、ミャンマーからの難民の女性と子どもの権利を守り、伝統的な織物と刺しゅうを生かし自立を支援。子どもたちの教育・健康プログラムにも取り組む。



ルワンダの教育を考える会

ルワンダの子どもたちに教育の機会を。さまざまな教育支援事業を通じて平和に寄与するNPO。

<http://www.rwanda-npo.org/>



ガーナ支援交流協会

ガーナでの教育、医療、保健衛生、環境改善、収入向上などを支援するNGO。

<http://twitter.com/ghanagafa>



福島・書籍紹介

3.11以降の生き方を探り、福島の声を届ける雑誌「J-one」や南相馬市の詩人、若松丈太郎さんの本など、福島に関連する書籍の紹介と販売。



チームやんだくない

コープこうべの元組合員理事5人のグループ。「忘れないよ」のメッセージとともに、今は主に岩手支援の物品を販売。



あみーず

宮城県名取市閑上(ゆりあげ)地区に住んでいた主婦グループ。レインボーアクリルたわしを製作販売。

<http://www.facebook.com/yuriageamis>



(公財)PHD協会 (PEACE, HEALTH&HUMAN DEVELOPMENT)

アジア・南太平洋の人々と交流。平和と健康を担う人材を育成。共に生きる社会をめざす。

<http://www.phd-kobe.org/>



国際居住研究会ソルト学生支部

フィリピンのスラムの、特に子ども、女性への支援を行う。同志社Saltとして活動。

<http://kyojyu-ken.jimdo.com/>



CHA

(Cambodian Handicraft Association)

カンボジアで、地雷やポリオによる女性障がい者の自立を支援するNPO。

<http://www3.online.com.kh/users/wthanchashop/>

参加者の声 Voice

- ・共にすすめるつながりを未来へつなげたい。
- ・高校生の「整理できない思いを抱えながら日々生きて行く、それでいいんじゃないか」という言葉が心に残りました。
- ・大西さんのアフリカ音楽。こんなに心を動かされる音楽を聴いたのは初めてです。

- ・未来へ、震災の記憶を忘れないように。
- ・相馬高校生の言葉を聞き、若い人たちもつらい体験と向き合って生きて行く術を身につけていると思わず安心しました。
- ・被災地の高校生の、全身から訴える誠実な演劇に心を打たれました。



カフェ

主に姫路・加古川地域で活動している兵庫県ユニセフ協会ボランティアチーム「ひめじオーブの会」が、ルワンダのコーヒー・紅茶でおもてなしを。



ユニーズ

兵庫県ユニセフ協会の学生ボランティアチーム。今回は子どもの権利条約の「子どもにとって良いこと」をテーマに交流。



生活協同組合コープこうべ

「福島の子ども保養プロジェクトinよしまキャンプ」とユニセフ募金活動の様子をパネルで紹介。

<http://www.kobe.coop.or.jp/>

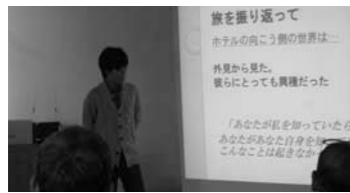
その他

活動紹介

3 第7回 国際理解講座

アフリカの今 そして過去から学ぶ

プログラム I ルワンダ報告 大学生 濱川雅俊さん
II 講演 拓殖大学国際学部教授 甲斐信好さん
ジャーナリスト 大津司郎さん
III トークセッション
日時 2013年12月14日(土)
会場 コープこうべ生活文化センター
参加人数 46人



写真左: 濱川雅俊さん
写真下: 甲斐信好さん(右)
大津司郎さん(左)



アフリカの今

13万人が暮らすケニアの難民キャンプの様子。150万人規模のケニアのスラムのこと。直線で引かれたケニア・タンザニア国境線の話。わずか3か月の間に80万人が犠牲となったと言われるルワンダでの大虐殺の背景と今の生活。そこには、私たちの知らない所で繰り広げられている世界、生きることすら大変なアフリカの今があった。そして、ここで暮らすために必要なものは、生きのびる力。

現在アフリカに常駐する日本人は1万人以下。一方、中国は外交戦略を持ってアフリカ全土で経済支援を行い、約100万人の中国人が生活している。

中国など諸大国の利害が入り乱れ、国際社会の縮図となったホットな今のアフリカ。そして、現在もアフリカでは争いがやむことはない。

アフリカから学ぶこと

日本の若者は豊かで安全で平和な世界で暮らしているはずだが、ともすれば、あれもないこれもないものを数えがちである。一方、世界に目を向け、違った国の人とチームを組み、競って仕事をするために身に付けなければならないものがある。アフリカ社会を見て、そこに暮らす人たちの世界を感じ、何かその人たちのために働こうと思ひ、心が変わり、あるものを数え探さようになる。これが生きる力を養うことにつながる。アフリカから学ぶという事はこういうことではないだろうか。

公益信託兵庫県婦人会館ユネスコ基金の助成を受けて実施された国際理解講座2013年プログラムは今回をもちまして終了いたしました。2014年プログラムは4月5日から始まっています。

2 第1回 国際理解講座

マサイの戦士・ジャクソンさんがやってくる ～マサイの今 伝統と変化のはざままで～

日時 4月5日(土)
会場 じばさんビル 9階ホール(姫路市)
出演 ジャクソン・オレナレイヨ・セイヨさん、
永松真紀さん、早川千晶さん
参加者 80人



ケニアからジャクソンさん、第二夫人の永松真紀さん、早川千晶さんにお越しいただきました。この日は寒い一日で、ジャクソンさんは風邪気味のためマスクをして登場しました。

始めに、早川さんからナイロビのキベラスラムにある「マゴンスクール」やミリティ村にある「ジュンバーラ・ワト(子供の家)」の子どもの話を伺いました。

次に、ジャクソンさんと永松さんからマサイの伝統的な生活について、映像をまじえての話がありました。マサイは、牛・ヤギ・羊の放牧を中心に伝統的な生活を送っています。主食は1日5～6リットル飲む牛乳。肉、血、そして、どうもろこしの粉で作るうがりを食べることもあります。男性は、子ども時代に放牧の仕事覚え、続く戦士時代(青年時代)に狩りを覚え、その後は長老になるための修行の時代に入ります。ジャクソンさんは戦士時代に7頭のライオンと1頭の象を仕留めた勇敢な戦士だったそうです。

今、マサイの暮らしは変化しつつあります。雨が降らなくなり、草も水もなく、そして、牛たちは十分な乳を出せなくなりました。中には、生きる場所を無くし、木を切って炭を焼いたり、それを売って生計を立てたりする部族も出てきました。村人たちは、この先、子どもたちが生きていけないのではという不安を抱え、必要なのは学校へ行って勉強することだと判断しました。マサイの素晴らしい自然や文化、伝統を守るためにもより高い学校教育を求めようになりました。

聴きながら、マサイは生きることがすべてにつながっていると、思いました。(十亀 仁恵)

Activity File 活動ファイル



兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2013年12月～2014年4月

活動一覽

Activity List

学習会活動一覽

月日	訪問先	対象	人数
1月16日	アイセック神戸大学委員会	大学生	5
2月 4日	篠山市立岡野小学校	小学6年	39
2月 5日	尼崎市立小園小学校	小学6年	109
2月20日	赤穂市立城西小学校	小学6年	70
2月26日	神戸大学附属明石小学校	小学6年	78
3月24日	アイセック神戸大学委員会	大学生	4

地域活動一覽

月日	イベント名
2月3日～3月中旬	カレンダー募金
2月23日	コープファミリーフェスタ西宮 ※
2月25日	コープ甲陽園活動発表会 ※
2月28日	「新老人の会」兵庫支部2013フォーラム ※
3月 7日	コープこうべ組合員まつり(西宮東) ※
3月 8日	祭り in すみよし ※
3月29日	コープこうべ第4地区サークル発表会 ※
4月13日	2014ユニセフカップ芦屋国際ファンラン ※

※ユニセフ製品を頒布しました。ご協力ありがとうございました。

1 カレンダー募金

日時 2月3日(月)～3月中旬
会場 コープこうべ生活文化センターなど4か所

今年も文具専門店「伊東屋」から提供いただいたカレンダーを「カレンダー募金」として格安で販売しました。売上げの105,740円は、「シリア緊急募金」として日本ユニセフ協会へ送金しました。ご協力ありがとうございました。



ちょっとユニセフ vol.1



ユニセフは150以上の国と地域で子どもたちのための支援活動をしています。その支援は右の3つを基準にして決められています。

- ① 5歳未満児の死亡率 (1000人中5歳になる前に命を失う子どもの数)
- ② 所得水準 (一人あたりの国民総所得の額)
- ③ 子どもの人口 (18歳未満の人の数)

(参考:日本ユニセフ協会HP)

TRY それでは三択クイズです!

- Q1. 1946年には5歳未満児の死亡数は、2,500万人もいました。現在およそ()万人まで減ってきています。
ア) 660 イ) 960 ウ) 1,260 A()
- Q2. 子どもたちの命を守る効果的な方法に、下痢による脱水症状を緩和する経口補水療法や6種類の病気に対する()があります。
ア) 点滴 イ) 予防接種 ウ) 投薬 A()

ユニセフ募金 Donations For Unicef

通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280兵庫	00190-5-31000	免除

緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
フィリピン台風	フィリピン台風 K1-280兵庫	00190-5-31000
アフリカ干ばつ	アフリカ干ばつ K1-280兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会
*手数料免除

事務所一時移転のお知らせ

コープこうべ生活文化センター耐震工事のため、兵庫県ユニセフ協会事務所は2014年4月～6月の期間、一時的に同センター西館2Fに移ります。

Wish ユニセフ兵庫ニュース vol.43 2014年5月号

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2014年（平成26年）5月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター
(2014年4月～6月の期間は西館2F)

電話：078-435-1605

FAX：078-451-9830

(お問い合わせは平日の10:00～16:00)

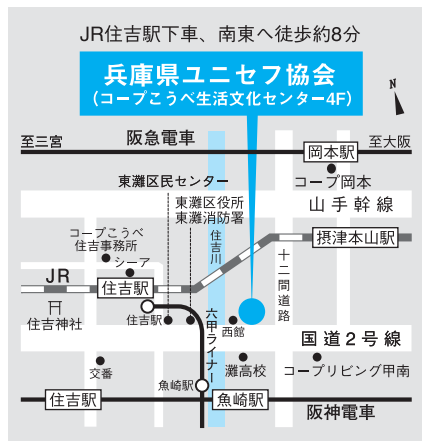
●最新の情報はホームページで

<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫県ユニセフ協会

検索

●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us 主催イベント

8月9日(土)

ユニセフ国際セミナー

講演会 在住ブラジル人の 子どもたちの今Ⅱ 「私が歩んだ道」(仮)

日時：8月9日(土) 13:00～16:30
会場：海外移住と文化の交流センター(神戸市中央区)
講師：伊木ロドリゴさん
協力：CBK(関西ブラジル人コミュニティ)

伊木ロドリゴさん

愛知県豊田市立保見中学校教諭。NHK番組「突撃アットホーム」で熱血教師として子どもたちと共に歩む姿が紹介された。自身も10歳の時に来日。わからない日本語と格闘しながら日本の学校で学び、先生になる夢をかなえた。大学生の時から在住ブラジル人の子どもたちの学習支援に取り組み、子どもたちが抱える問題と向き合ってきた。



お申し込み、お問い合わせ先

事務局 078-435-1605

NEWS お知らせ

5月18日(日)	神戸まつりパレードに参加
5月31日(土) 15:00	国際理解講座「海外インターナシップ報告」(賀川記念館:神戸市中央区)
6月28日(土) 13:00	ユニセフ入門講座(コープこうべ生活文化センター)
7月 5日(土) 13:30	ユニセフ七夕セミナー(岡山県天神山文化プラザ)
7月27日(日)～31日(木)	福島の子ども保養キャンプ in よしま

BOOTH 出展参加

7月にコープこうべ各地区で行われる「平和のつどい」では、ユニセフカード、ギフトの頒布を予定しています。皆さまのお越しをお待ちしています。

ユニセフカード カタログ 春・夏号 2014



ユニセフ製品をご利用いただくことで、定価の約50%がユニセフの活動資金として世界の子どもたちのために役立てられます。ぜひ手に取ってご覧ください。また、カタログご希望の方は事務局までご連絡ください。

ユニセフひょうご サポーター



賛助会員募集中!!

賛助会員となって、兵庫県ユニセフ協会の活動を支援してください。お申し込み、お問い合わせは事務局までお願いいたします。